

絵本で子供たちに伝えたい

——— HAPPY CREATOR たかい よしかず さん

待望の絵本を出版



いま大人気の児童書『怪談レストラン』シリーズ。これまで約50冊が刊行されているが、そのうちの約30冊の挿絵をたかいさんが描いている。

「僕はオバケの本とは思ってないですよ。オバケの本のふりをしているけど、根底には子供たちにいま伝えなければいけないことが書かれてるんです。怖い怖いだけでは、ここまで人気シリーズにならなかったと思います」

「昔うちの親によく言われたんですよ、作品を見せたとき『これ何の意味があんの？』って。

『おもしろかったらええやん』と言い続けてたけど、それだけではあかんなということに気がつきました。

おもしろいのは大切なことやけど、どういう意味があるのか、何を伝えたいのが大事なんです」



『怪談レストラン』シリーズの挿絵を担当し始めた頃から、待望の絵本の話も来るようになった。とくに『おさんぽ くろくま』『ゆきのひ くろくま』『うみべのくろくま』のくまさん絵本を出版できることになったときは、とてもうれしかったそうだ。

来年の春には「春」のお話が出される予定で、春夏秋冬の4部作になる。

「自分がされてイヤなことは人にしたらあかん、というのがまず人間として基本のこと

やと思ってるんです。だからそれを何らかのカタチで子供たちに伝えたい。いま僕がつくってる絵本ではまだそこまで伝えきれてない、まだまだ書けてないんですけどね」

「僕が小さいとき見ていたテレビの漫画には、

愛や正義や友情や根性といったものが凝縮

されてた。いまの子供たちに足りないものやと思うんですよ。そういうことを伝えていける仕事につけてよかったと思います」

たかい・よしかずさんの[公式サイト「ネコダルマン・ファンタスティックワールド」](#)へぜひ

たかいさんの創り出したキャラクターが大集合。ギャグ漫画や、イタリア・ボローニャ国際絵本原画展の入選作品を見ることができる。展覧会やイベントの情報も。